

私は今回の講演会で新聞記者の知られざる一面を見ることができました。得に失敗談は、意外で面白かったです。新聞記者になったきっかけや、一番心に残っている取材も聞けて、貴重な機会でした。この講演会を聞くまでは新聞の枚数や記事の内容を気にせず、流して読んでいました。ですが、新聞の本当の意味を知ったことで今までより新聞が深く読めると思います。新聞の取材や記事の考え方、面白いエピソードも聞けてとても良い講演会でした。ありがとうございました。

今日は講演、ありがとうございました。新聞についてなどがよく分かりました。今日の話を聞いて、記者の方が時間をかけて書き、苦労して書いてているということが印象に残りました。このことから新聞を捨てている人に注意したくなりました。後は、小学校の時の習字で下に敷いていたことが少し申し訳なく思いました。新聞記者は海外でのインタビュー、時差、徹夜で仕事などで大変そうでも同時にやりがいを感じる仕事なんだろうなと思いました。一文の長さや段落の長さが分かったので感想文や意見文などを書く時に参考にしたいと思いました。

ふり返り

新聞がどのように作られているかを知り、自分たちは記事を見るだけだったけど記者の人・新聞社の人はたくさん苦労していることがわかりました。風間さんが言っていた「入社して、1日目は1時間に1回やめたいと思っていたけど、半年たつと1週間に1回、1年たつと1年に1回とだんだん減っていった」という話を聞き、やめたいと思った時期もあったけど諦めずここまでやってきたのがすごいなと思いました。新聞記者という仕事はすごく大変ということもわかったけど、それ以上にやりがいや嬉しさや達成感が感じられる仕事なのだと風間さんの話を聞いて学ぶことができました。また、最初は「大変そうな仕事」というイメージがあったけど、有名人に会えたり、話すときのコミュニケーション力があがったり、記事を書くときの文章力があがったりして将来にとても役立つし、人として成長できる職業だなと思いました。

新聞=newspaper,記者=reporter、新聞記者はみんなにニュースを届けリポートする。私は新聞記者ではないけど、風間さんのように人の役に立てるような職業を見つけ、仕事ができる人になりたいです。

今日の講演で、新聞を読むときのコツや新聞ができるまでの道のりを詳しく知ることができました。新聞はすべての記事を全文読むことが良いとしか考えたことがなかったけど、新聞の中にある見出しを一通りすべて読むことが大切だと知り、新聞を自分でももっと積極的に読んでみたいと思いました。新聞記者の仕事は自分が思っていたよりもかなり大変で、徹夜をしたりする日もあると聞いて驚きました。読者のために寝る間を惜しんで頑張って新聞づくりをしている記者の人たちはすごいと思いました。自分の家では新聞を取っていないので新聞を見る機会は少ないけど、新聞ノートなど学校にある新聞を自分から読む機会を作りたいなと思いました。忙しい中私達のために講演をしてくれて、新聞への興味関心がより深まりました。ありがとうございました。